

**地方卸売市場でスプレー缶噴射装置付きドローンを活用した
鳥害対策実証実験を実施します**
～「ちばドローン実証ワンストップセンター」で実証実験を支援～

千葉市では、ドローンの実証実験を促進し、あらゆる分野のドローン利活用の早期本格化を図るため、国家戦略特区推進課内に「ちばドローン実証ワンストップセンター」を設置しています。

このたび、千葉市地方卸売市場において、鳥害による被害軽減の検証を目的に、スプレー缶噴射装置を付帯したドローンを活用した実証実験を実施しますので、お知らせします。

1 実証概要

(1) 目的

鳥害（糞害・鳴き声・悪臭・羽毛散害）に対して、施設内の樹木等に鳥忌避剤を散布し、散布箇所に鳥が寄り付かなくなる忌避効果と効果継続期間を検証します。

(2) 実施期間

令和7年11月18日（火）～令和8年7月頃（予定）

(3) 場所

地方卸売市場（美浜区高浜2-2-1）

(4) 内容

ドローンに付帯したスプレー缶噴射装置を使用し、対象物へ鳥忌避剤を散布します。鳥忌避剤の持続効果を確認しながら継続的に散布を実施します。

(5) 期待される効果

鳥を刺激する成分を配合する忌避剤を鳥害が発生する箇所へ散布することで、最大3カ月程度、散布箇所に鳥が寄り付かなくなります。また、ドローンによる散布が人手による作業と同等の効果を発揮することが確認できれば、作業の効率化や人員負担の軽減につながる事が期待されます。

(6) 実施者

実施事業者	株式会社ジンダイ（本社 神奈川県川崎市幸区）
製品開発企業	東洋製罐株式会社（本社 東京都品川区東五反田）
製品販売代理店	株式会社セキド（本社 東京都港区西新橋）



スプレー缶噴射装置を付帯したドローン

2 取材について

11月18日（火）（実証開始日）に、スプレー缶噴射装置を付帯したドローンを飛行させ、樹木へ鳥忌避剤を散布の様子を公開します。

(1) 日時

令和7年11月18日（火）15:00～16:00

※雨天、強風等の場合は中止となります。

(2) 申し込み方法

取材希望の方は、別紙「取材申込書」により、11月17日（月）正午までに、国家戦略特区推進課へメール（tokku.POF@city.chiba.lg.jp）でお申し込みください。

<参考>

1 ちばドローンワンストップセンターについて

ドローンの実証実験を促進することにより、ドローン利活用の早期本格化を図るため、国家戦略特別区域法に基づき、平成30年3月23日に、本市が国と共同で設置した組織です。実証実験を実施しようとする事業者に対し、情報提供、相談等の支援を行っています。

(1) 設置場所

市役所高層棟6階 国家戦略特区推進課内

(2) 受付時間

月～金曜日 9:00～17:00（祝休日、年末年始を除く）

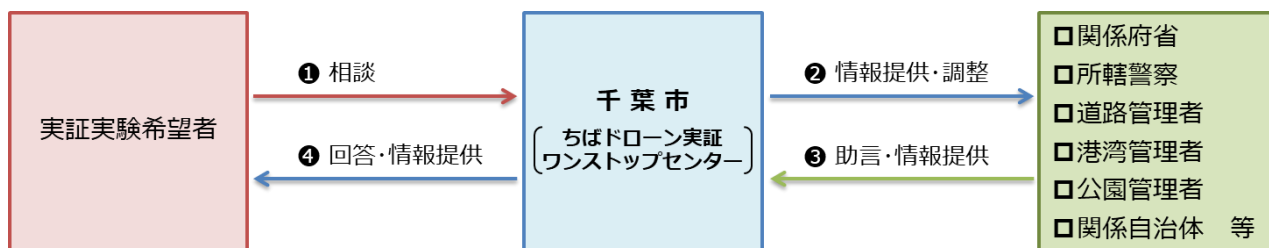
(3) 支援内容

ア 実証実験に必要な手続に関する電話相談、窓口相談等の対応

イ 実証実験の実施に係る関係機関等との調整

ウ 実証実験の実施に係る地域への周知等

エ その他実証実験の実施に必要な支援



ちばドローンワンストップセンターの支援イメージ

2 株式会社ジンダイについて

平成5年6月に設立。建物・道路公園・運動施設の総合管理業務（清掃・設備・警備受付・環境衛生・建築基準法第12条点検・樹木管理・廃棄物収集・省エネ業務など）を行っています。従事者の危険作業代替や自治体の建物保守コスト削減の一助となることを想定し、無人航空機運用事業を立ち上げ、ドローンおよび赤外線カメラを使用した外壁調査を主軸としています。さらにスプレー缶噴射装置 SABOT を導入し、高所の外壁補修・鳥害および害虫対策を推進しています。

3 東洋製罐株式会社について

創業以来“包む”ことの大切さを基本に包装容器づくりに専念し、顧客の価値観やニーズに応えた包装容器を世の中に供給し続けてきたリーディングカンパニーです。日常生活を支える社会的インフラである包装容器を通じて「人類の幸福繁栄に貢献する」ことを使命とし、「東洋製罐ならではの」高付加価値な製品やサービスを開発・提供しています。

4 株式会社セキドについて

東京都港区に本社を構える、ドローンや水中ドローン、カメラ機材などを取り扱う最先端技術の専門商社です。販売だけでなく、講習・導入支援・メンテナンス・コンサルティングまで幅広く展開し、産業・防災・測量・農業など多様な分野でのドローン活用を支援しています。